

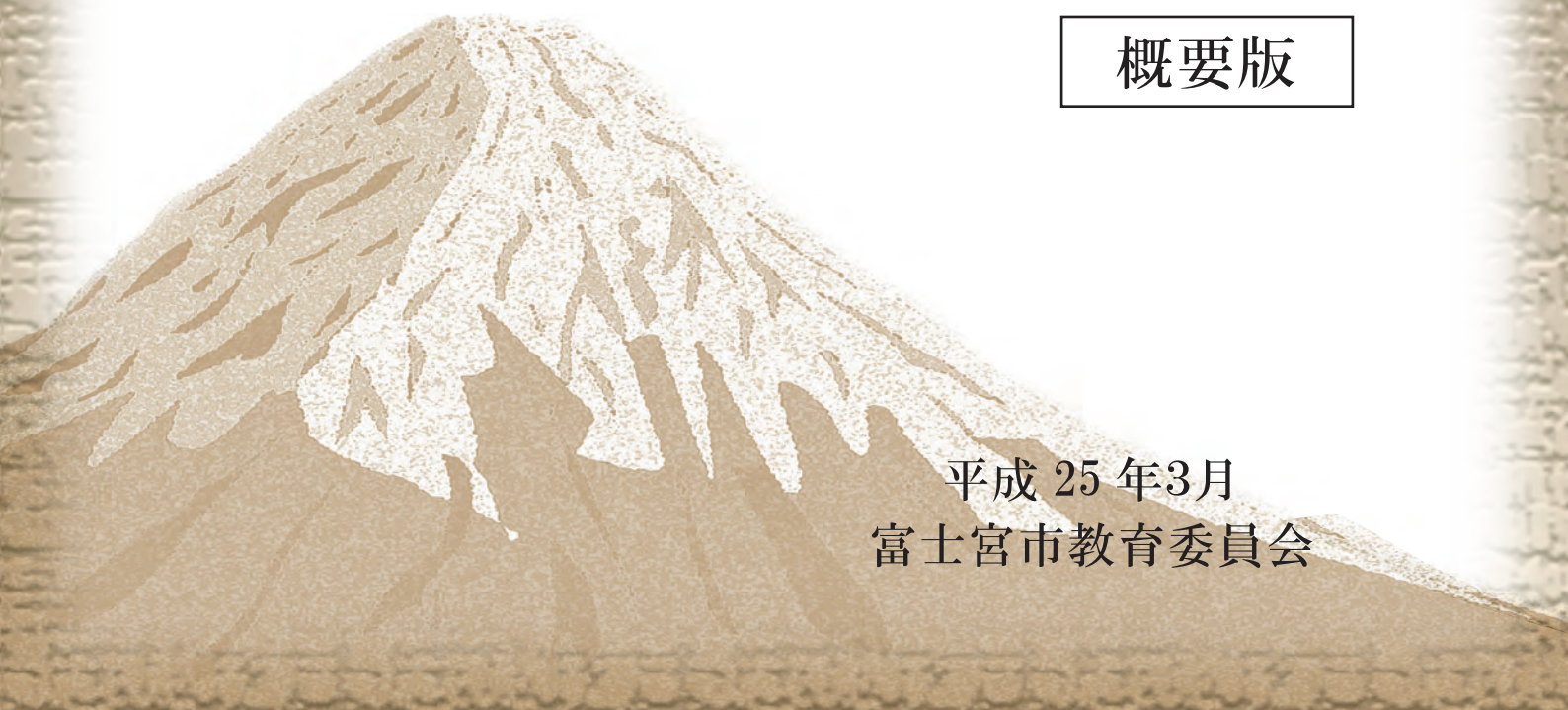
富士山世界文化遺産

富士宮市行動計画

Fujinomiya Action Plan for World Cultural Heritage

概要版

平成 25 年3月
富士宮市教育委員会



基本理念

私たちの富士山とその文化的価値を守り、伝え、高めながら、
次世代へと確実に継承し、「世界文化遺産のあるまち富士宮」を育みます。

目的

現在、「日本の宝を、世界の宝へ」を合言葉に、富士山の世界文化遺産登録を目指し、静岡・山梨両県と富士山周辺の市町村（静岡県7市3町、山梨県1市3町3村）で登録に向けた活動組織を設置し、緊密な連携のもと登録に向けた取組を進めています。

その中でも富士宮市は、富士山の価値を証明する構成資産（文化財）が6件あり、他市と比較して圧倒的に多く存在することから、中心地としての役割が求められています。

しかし、構成資産となった市内の文化財（富士山山域・富士山本宮浅間大社・村山浅間神社・山宮浅間神社・人穴富士講遺跡・白糸ノ滝）の中には、周辺環境も含めた受入体制が整備されていないものもあります。

既に世界遺産となっている先例を見ると、日本全国、世界から多くの人々が訪れ、地域の暮らしに少なからず変化が起きています。この変化に順応することができれば、地域の魅力は高まりますが、対応できない場合は、地域にマイナスの作用を引き起こすことが指摘されています。

世界遺産登録は、あくまで構成資産の保護が目的ですが、文化財の保存と活用を両立させた持続可能なまちづくりに向けて、事前の環境整備や仕組みの構築を登録活動と同時に進めていくことが重要です。この点が、多くの構成資産を抱える当市にとって大きな課題となっています。

このようなことから、世界文化遺産をキーワードに富士山と構成資産の諸活動に関わる計画を体系的にまとめ、富士山に関わる活動を総合的かつ計画的に推進し、進行管理を行うために、「富士宮市行動計画」を策定するものです。

行動計画は、「守る」「受け入れる」「活用する」「情報を発信する」の4項目を基本方針とします。

守る 富士山の価値を守る

美しい富士山の自然と、富士山が育ててきた文化遺産の価値を学び、理解し、次世代に残していこう。

受け入れる 来訪者を受け入れる

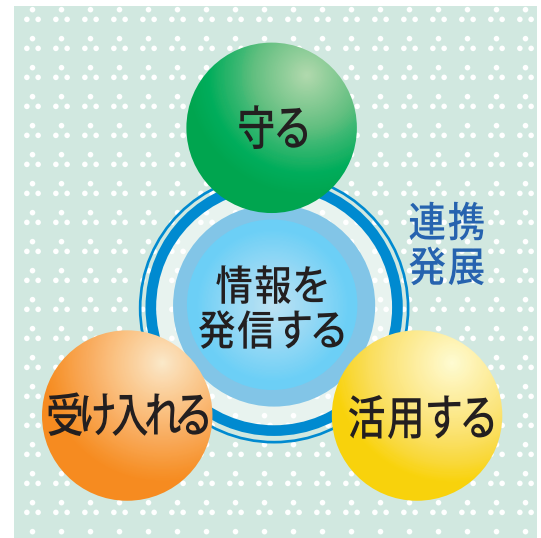
訪れる人が、富士山の魅力を安全に、興味深く、効率的に味わうことができる、「ようこそ」の心あふれる受け入れ体制をつくろう。

活用する まちづくりに活用する

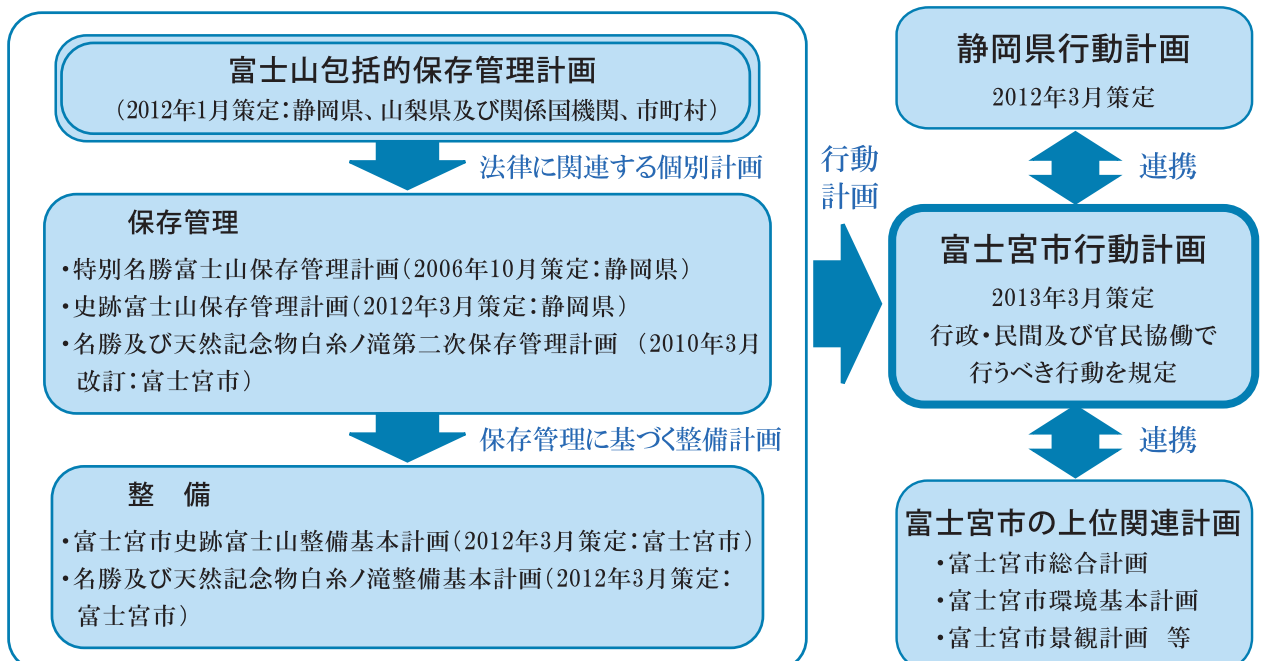
富士山の恵みあふれる富士宮の自然、歴史、文化、産業を掘り起こし、新たな価値を創造していく、躍動するまちづくりをすすめよう。

情報を発信する 連携を視野に情報を発信する

市民や来訪者に富士山の多様な価値を伝え、「守る」「受け入れる」「活用する」に係わる情報を整理し発信することにより、富士宮市が世界遺産のあるまちであることを示そう。



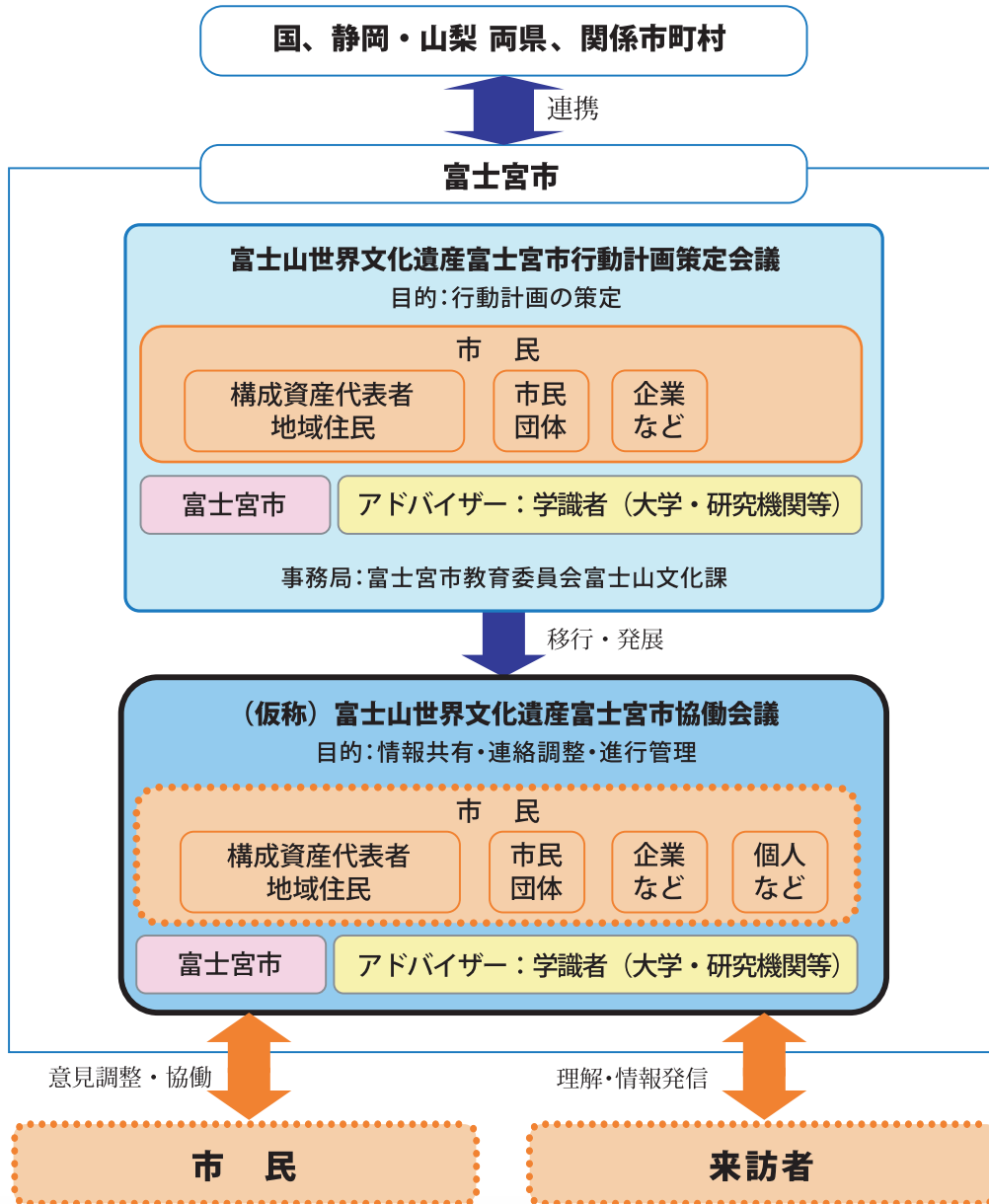
富士山の保存管理及び活用に向け、県が実施する事業の調整及び進行管理を行う「静岡県行動計画」と連携し、具体的な市民、行政、官民協働の行動を明確に示した行動計画です。



行動計画の策定にあたり、構成資産の代表者、地域住民、市民団体、企業等や学識経験者による「富士山世界文化遺産富士宮市行動計画策定会議」を設置し、審議を行いました。

今後は、行動計画策定会議に参加している委員が中心となって、平成25年度より新たに「(仮称)富士山世界文化遺産富士宮市協働会議」を設置し、運用と進行管理を行います。

また、国、静岡・山梨両県、関係市町村と広域での連携を図り、広く活動を推進します。



富士山世界文化遺産富士宮市行動計画【概要版】

平成25年3月

発行：富士宮市教育委員会

編集：富士宮市教育委員会富士山文化課

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地

TEL：0544-22-1111(代)

E-mail：e-bunka@city.fujinomiya.shizuoka.jp